

事業報告書様式

1 様式1

(施設概要、指定管理者概要)

2 様式2

(管理運営体制(事業計画書様式2)の報告、利用促進・市民協働等(事業計画書様式3)の報告、維持管理(事業計画書様式4)の報告)

3 様式3

(有料施設利用回数・人数・稼働率(月別)・利用料金収入実績、令和4年度公園利用状況)

4 様式4

(令和4年度修繕実績)

5 様式5

(令和4年度増減備品一覧)

6 様式6

(苦情要望対応報告、事件・事故・災害対応報告)

7 様式7

(利用者アンケート結果)

8 様式8

(研修実施報告)

9 様式9

(無料事業実施報告一覧(自主事業含む)、有料事業実施報告一覧(自主事業含む))

10 様式10

(業務の第三者委託実績)

11 様式11

(収支報告書(指定管理事業のみ))

12 様式12

(運営目標・実績報告)

(事業報告書様式1)

1 施設概要

公園名	本牧山頂公園
所在地	横浜市中区和田山 1-5
公園面積、公園種別	227,031m ² 総合公園
主な施設	レストハウス、キャンプ場、バーベキュー場、ドッグラン、芝生広場、自然体験ゾーン、遊具広場、トイレ、駐車場など
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・東京湾に近い丘陵地に位置し、良好な眺望が特徴です。 ・1982年にアメリカ軍から返還されるまで40年近く接収されていたため、バブル期の乱開発を逃れ、多くの樹林地が残されています。都心部では貴重な、市民の自然との触れ合いの場となっています。 ・公園裾野は、本牧地域35町にまたがり、多くの住民の良好な住環境を維持する上で、重要な樹林地となっています。 ・本牧地域全体の活性化が望まれるなか、三溪園にならび、本牧のシンボルとしての役割も期待され始めています。
公園開園日	平成10年3月31日

2 指定管理者概要

指定管理者名	横浜植木株式会社
代表者名	代表取締役社長 伊藤 智司
所在地	横浜市南区唐沢 15 番地
指定管理期間	平成31年4月1日～令和5年3月31日
現指定管理者管理運営開始日	平成22年4月1日

(事業報告書様式2)

1 管理運営体制(事業計画書様式2)の報告

<p>(1)「本年度の基本的な管理運営方針」の結果</p> <p>「保全」:豊かな自然を行き届いた管理で守るとともに、公園愛護会と共催している「山頂にチョウを呼ぼう」では、身近な生きものであるチョウを対象に、座学、吸蜜植物の植栽、モニタリング(観察会)を通じて、参加者に生物多様性の保全を体験していただきました。</p> <p>「育成」:公園愛護会と共催の自然の中での遊びや、サツマイモ・落花生の収穫体験、ハチミツしぼり体験、青空絵本の部屋などを実施し、子どもたちの豊かな感性を育む取組を実施しました。</p> <p>(2)「運營業務の実施計画・取組」の結果</p> <p>「保全」:チョウの誘致活動では、吸蜜植物の面積が増え、花壇を利用するチョウ、ハナバチ、ハナアブなどの個体数が増加しました。モニタリング調査では食草としてイネ科、マメ科の植物が多く生育し、これらを食草とするウラナミシジミ、ツバメシジミ、キチョウ、イチモンジセセリなどが多く見られた反面、アゲハ類が少なかったことから、サンショウを植栽しました。また、渡りをすることで有名なアサギマダラが毎年み</p>

られるようになり、その時期には問い合わせもありました。

「育成」:山頂散歩はリピーターもみられ、普段から自然観察に訪れ、Instagramで発信される方も少しずつ増えています。昨年、「山頂にチョウを呼ぼう」に参加された未就学児が、チョウ好きとなり、山頂公園のほか、各地の昆虫館にも行かれているとの話を伺いました。「Bee プロジェクト」では、インターナショナルスクールの4年生の担任から見学したいとのご要望があり、見学会を実施しました。この学年では春からミツバチを通して人が生態系に与える影響について勉強していて、実際にどんな影響があるのか、どうしたらミツバチを守ることができるかといった質問がありました。また、本牧小学校2年生の総合学習で公園の仕事について知りたい・実際に役に立ちたいとご希望があり、植栽のツル取り、落葉清掃などの体験をしていただきました。さらに「公園を使う人に気をつけてもらいたいことは？」との質問があり、自転車、ごみ、犬などのこととお話しし、啓発のポスターを作成してもらい、園内に掲示しました。

(3)「管理運営体制、人員の配置と研修計画」の結果

園地作業・カフェ運営のスタッフの増員をしました。勤務体制は計画通りの人員配置となりました。

研修については計画した研修より多く実施しました。

2 利用促進・市民協働等(事業計画書様式3)の報告

(1)「利用者サービスの向上・利用促進策」の結果

5月からレストハウスで「見晴らし cafe」の営業を開始しました。カフェではコーヒー、紅茶などの飲料のほか、中華街で販売されている肉まん、ちまき、横濱銘菓、公園で採れたハチミツ、ハチミツ入りのオリジナルクッキーなどを販売し好評でした。また、障がい者支援活動として、施設で作られているパン、クッキーなどを販売しました。レストハウスに職員が常駐していることにより、お客様から情報、ご要望をいただいたり、公園に関する情報を発信したり、公園とお客様をつなぐ場にもなっています。

カフェの開店に伴い、レストハウス前の花壇を充実させました。さらに屋上の花壇や、養蜂場の周りなどにはミツバチの蜜源としてヒマワリ、ソバ、ヘアリーベッチ、ナノハナなどの花畑を創出しました。

(2)「広報、プロモーションの取組」の結果

アンケートの結果から20代、30代の利用者が少なく、この世代の利用を促進するため、SNS(Instagram)による情報の発信に努め、フォロワーが700名を超えました。イベントの情報についてはHP、園内掲示板のほか、カフェにおける対面での情報提供により、効果が得られました。

(3)「市民協働、市民主体の活動の支援・地域人材育成」の結果

本牧ライトアッププロジェクトは本牧神社のお馬祭りに合わせ、地域が一丸となって実施するイベントです。公園では、ランタンの数を増やし、神社への参道だけではなく、見晴らし山を飾り、カフェの営業時間を延長するなどの取組を行い、多くの来園者がありました。

本牧山頂公園クリーンアップラリーは、近隣の小中学校から子どもたちがゴミを拾いながら山頂を目指す取組で、軍手やごみ袋の提供を行いました。また、公園は広域避難所に指定されていて、子どもたちが歩いてきた道が避難路にもなることとお話しし、イベントに避難訓練の意味合いも持たせました。

本牧ライトアッププロジェクトや中区保育園駅伝大会などのイベント開催時には、事前に会場の草刈り、ブロー清掃を実施し、折れ枝、かかり枝、スズメバチの飛来がないかなど安全管理を実施しました。

地域人材の育成としては、「山頂にチョウを呼ぼう」で参加者に生物多様性の現状や重要性の講座を行い、保全の体験をしていただきました。また、インターナショナルスクールの4年生には養蜂について、本牧小学校の2年生には公園の仕事についてお話ししました。

(4)「災害時緊急対応」の結果

大雨洪水警報が発令された際には、公園内外について臨時の特別巡視を行い、状況を速やかに関係各所に報告しました。

(5)「安全対策・防犯対策」の結果

安全対策として、毎日の巡視で折れ枝、枯れ枝等の支障木や施設の不備を見つけた際には、注意喚起の掲示を行い、直営あるいは外注で処置を行いました。また、春にスズメバチ女王捕獲のためのトラップを設置し、オオスズメバチ 136 個体、小型のスズメバチ(キロスズメバチ、コガタスズメバチ) 137 個体を捕獲しました。防犯対策としてツツジ等の植栽は低く刈り込み、ササや実生木を除去し、死角になる場所を極力減らしました。

(6)「苦情・要望への対応・不法行為対策」の結果

苦情・要望としてはノーリードについての苦情があり、中区、横浜市と協働で早朝の巡回指導を実施しました。また、猫の餌やりについての苦情があり、横浜市と協議の上、啓発ポスターの掲示を行いました。不法行為対策としては、火遊び跡の発見が続いた際には警察に巡視の強化を依頼しました。

(7)「本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮」の結果

よこはま b プランを踏まえた取組として、ミツバチの花粉媒介者としての役割や生態系サービスについて解説し、生物多様性の重要性の啓発を行いました。みどりアップとして、チョウの吸蜜植物、食草の植栽を行い、緑の質を向上しました。

(8)「個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消」の結果

個人情報保護・情報公開に関する研修を実施し、個人情報を含む情報は金庫保管、定期的にシュレッダー処理を行い、電子データ化はしないことを基本としました。

3 維持管理(事業計画書様式4)の報告

(1)「公園の維持管理の基本方針」の結果

植栽管理については、巡視の結果から作業計画を見直し、週間の工程に反映しています。施設の維持管理は修繕計画に上げた項目と巡視で確認した項目について直営あるいは外注で実施しました。

(2)「公園施設・設備の維持管理」の結果

トイレのドア、センサー、給水管に不具合が見られ、すぐに修繕を実施しました。

(3)「公園施設・設備の修繕計画」の結果

階段の手すり、野外卓の修繕を計画し、実施しました。クスノキ植栽升周辺の根上りしたインターロッキングについては、本社の工事担当者の指導により、研修を兼ねて修繕を実施しました。

(4)「樹木・植栽等の管理」の結果

秋季にハナミズキ、ヨコハマヒザクラ、ベニシダレザクラなどの施肥を実施しました。ナラ枯れについてはフラスの出た樹木についてトラップを設置し、経過を観察しました。枯れたのは1本に留まりました。

(5)「巡視・清掃」の結果

1日2回の巡視を継続し、危険個所の確認とごみの回収を行いました。結果を日誌に記録して終礼でも情報を共有・対策を協議しました。必要に応じて月1回の職員会議でも議題とし、解決策を検討して実施しました。

(事業報告書様式3)

1 有料施設利用回数・人数・稼働率(月別)・利用料金収入実績 ※有料施設がある場合のみ該当

(1)ドッグラン

利用月	開催日数	利用者数	利用犬頭数				利用料金
			小型	中型	大型	合計	
4月	10	613	256	154	85	495	283,000
5月	10	570	238	115	102	455	254,500
6月	9	376	171	81	55	307	169,500
7月	8	282	135	71	35	241	138,000
8月	9	165	78	28	24	130	70,000
9月	7	217	123	40	32	195	113,000
10月	12	685	366	143	94	603	359,500
11月	9	429	233	94	57	384	230,500
12月	10	596	310	128	65	503	302,000
1月	9	385	164	92	73	329	187,000
2月	11	529	238	114	62	414	231,500
3月	8	372	174	103	58	335	188,500
年間合計	112	5,219	2,486	1,163	742	4,391	2,527,000

(2)キャンプのできる広場

利用月	開催日数	利用者数	利用種別				利用料金
			一般 (バーベキュー)		団体 (キャンプ)		
			大人	子ども	大人	子ども	
4月	5	95	30	23	6	36	29,000
5月	9	178	25	15	49	89	29,500
6月	6	131	54	36	23	18	48,000
7月	9	145	25	5	40	75	32,500
8月	5	61	24	14	10	13	20,000
9月	7	93	49	14	17	13	39,000
10月	5	156	71	30	22	33	47,000
11月	5	152	79	53	12	8	62,500
3月	2	8	0	0	4	4	4,000
年間合計	53	1,019	357	190	183	289	311,500

※12月～2月は休止期間です。

※4月と5月は利用人数制限のため、利用サイトを半数として運営しました。

2 令和4年度公園利用状況(園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入)

月別	公園の利用人数	備考
4月	3,151	有料施設、ノルディック、青空絵本、森林ヨガ、フラワーガーデン見学会、山頂にチョウを呼ぼう、見晴らしカフェ
5月	4,171	有料施設、ノルディック、青空絵本、森林ヨガ、見晴らしカフェ
6月	3,168	有料施設、ノルディック、青空絵本、山頂にチョウを呼ぼう、ミツバチ見学・ハチミツ搾り体験会、見晴らしカフェ
7月	2,019	有料施設、ノルディック、青空絵本、七夕、見晴らしカフェ
8月	2,431	有料施設、青空絵本、本牧ライトアッププロジェクト、見晴らしカフェ
9月	2,348	有料施設、ノルディック、見晴らしカフェ
10月	4,014	有料施設、ノルディック、青空絵本、森林ヨガ、山頂にチョウを呼ぼう、本牧の風コンサート、山頂散歩、さつま芋掘り、見晴らしカフェ
11月	3,484	有料施設、ノルディック、青空絵本、中区タウンピクニック、見晴らしカフェ
12月	4,649	有料施設、ノルディック、青空絵本、焼き芋体験、ドッグフェスタ、ナチュラルリース作り、見晴らしカフェ
1月	2,483	有料施設、青空絵本、山頂散歩、見晴らしカフェ
2月	3,351	有料施設、ノルディック、青空絵本、クリーンアップラリー、見晴らしカフェ
3月	4,738	有料施設、ノルディック、青空絵本、蜜蝋ハンドクリーム作り、見晴らしカフェ
年間合計	40,007	有料施設・イベント・見晴らしカフェ周辺の集計

(事業報告書様式4)

令和4年度修繕実績(※指定管理者が実施したもののみ記入)

修繕年月日	修繕箇所	金額 (単位:円)	委託業者名または直営 かの記載
R4.4.2	園路灯 No.2-12-3 修繕	84,400	平岡電機
R4.4.10	レストハウス安定器交換	15,730	平岡電機
R4.4.25	レストハウス各所水栓交換	191,400	三ツ矢設備工業
R4.4.26	レストハウス電源増設	286,000	平岡電機
R4.5.13	レストハウス電源工事	38,500	平岡電機
R4.5.13	レストハウス内装工事	605,000	ODB
R4.6.14	駐車場トイレ便座修繕	5,940	直営
R4.7.8	グレーチング修繕	4,250	直営
R4.7.11	インターロッキング修繕	29,090	直営

R4.7.17	土留修繕(和田山の丘)	8,500	直営
R4.7.22	乗用草刈機修繕	60,390	戸塚農機
R4.7.25	階段踏み板修理(なぞのサークル)	12,750	直営
R4.7.26	トイレ給水管水漏れ	147,000	三ツ矢設備工業
R4.8.17,20	手摺修繕、車止め修繕(満坂口)	149,600	宮田
R4.8.25	動力盤修繕	12,100	平岡電機
R4.11.24	駐車場男子トイレ漏水	156,200	三ツ矢設備工業(株)
R4.11.25	荒井トイレセンサー	35,090	TOTO メンテナンス
R4.11.25	電動トリマーブレード交換	9,350	戸塚農機
R4.12.1	電動トリマーブレード交換	18,700	戸塚農機
R4.12.13	一輪車タイヤ交換	4,250	直営
R4.12.19	観山女子トイレ扉	72,600	KMS
R4.11.21, R4.12.7,10,21	まきばの丘テーブル、ベンチ板研磨、 塗装	49,194	直営
R5.1.8,16,20 R5.2.4,10,17,20,3.8	まきばの丘・和田山の丘・テーブルベンチ板 研磨,塗装,再設置	89,241	直営
R5.1.16,20,26	和田口立入禁止エリア四ツ目垣修繕	46,750	直営
R5.1.30	荒井フェンス復旧	82,500	エグゼプランティング
R5.1.31	和田山の丘ベンチ支障木除去	55,000	エグゼプランティング
R5.1.31,2.1	主園路インターロッキング根上がり修繕	60,878	直営
R5.2.1,2,7	本牧神社階段法面土留め	25,500	直営
R5.2.2,17,24,3.17	果樹園下柵修繕	10,625	直営
R5.2.6	観山広場入口インターロッキング修繕	8,500	直営
R5.2.8	センター広場法面穴修繕	8,500	直営
R5.2.7,9	観山広場花壇垣根修繕	34,000	直営
R5.2.12	和田口インターロッキング修繕	8,500	直営
R5.2.16	管理棟横花壇ロープ柵修繕	2,125	直営

R5.2.24,27	和田口土留板修繕	6,375	直営
R5.2.26	アメリカ坂口インターロッキング修繕	4,250	直営
R5.2.27,28, R5.3.1,7,8	まきばの丘越境枝除去、 アトレ前法面草刈	137,500	エグゼプランティング
R5.3.1,2,4,7	和田口階段手摺塗装	17,000	直営
合計		2,593,278	

(事業報告書様式5)

令和4年度増減備品一覧(※指定管理者が購入・廃棄したもののみ記入)

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
			数 量	年月日	数 量	年月日	
電動芝刈機	MAKITA MLM001CZ	94,600	1	R4.6.1			機械電動化のため。
電動刈払機	MAKITA MUR007G 40V	55,000	1	R4.7.1			園地スタッフ増員のため。

(事業報告書様式6)

苦情要望対応報告

	年月日	内容	対応結果
1	R4.4.1	隣接宅の越境枝除去の要望があった。	公園敷地外である旨を伝えた。
2	R4.5.22	飼犬が他の飼犬に噛まれた為、ポスター掲示の要望があった。	現場付近にポスターを掲示した。
3	R4.5.25	水道の水圧が強いので調整して欲しい。	水圧の調整を行った。
4	R4.6.3	刈込で枝だけになるのをやめて欲しい。	管理理由等の説明を行った
5	R4.7.11	1.越境枝は、越境部分を強剪定する。2.法面2か所は巾刈と葛を根本から切る。	各作業をR4.8月、R5.3月に作業した。
6	R4.7.14	隣接宅の草刈の要望があった。	日程を調整後、作業を行った。
7	R4.8.31	境界部の草刈とつる取りをして欲しい。	日程を調整後、作業を行った。
8	R4.9.16	隣接宅の越境枝除去の要望があった。	日程を調整後、作業を行った。
9	R4.9.19	団体でレストハウスを占拠していた。	団体の責任者に声掛けを行った。
10	R4.10.2	カフェ内で団体が無マスクで話していた。	団体の責任者へ声掛けを行った。
11	R4.11.19	トランペットの音が気になる。	ポスターを掲示した。
12	R4.11.28	精算機で減免する際、インターホンで待たされると苦情があった。	インターホン入電の回線を身障者専用へ設定変更した。

13	R4.12.2	隣接宅の越境枝除去の要望があった。	日程を調整後、作業を行った。
14	R4.12.28	園路灯が点灯していない。	点灯を確認し稼働時間を掲示した。
15	R5.1.4	猫の餌やりについて苦情があった。	マナー啓発ポスターを設置した。
16	R5.2.27	犬のノーリードをしている人がいる。	園内アナウンスを行った。
17	R5.3.12	ゴルフクラブを木に当てている人がいる	樹木を傷つけないようお願いした。

事件・事故・災害対応報告

	年月日	内容	対応結果
1	R4.4.17	プランターが損壊していた。	警察に巡視の強化をお願いした。
2	R4.5.2	公園の木を強剪定している業者がいた。	公園内の木は切らないよう伝えた。
3	R4.5.18	警察官から、職務質問を行った者が公園の植物を採取していたと連絡があった。	見かけた際には声掛けを行うこととした。
4	R4.6.1	スプリング遊具が破損し倒れていた。	処分し、新しい遊具を設置。
5	R4.7.1	階段に木が倒れていると連絡があった。	日程を調整後、伐木作業を行った。
6	R4.8.14	台風8号通過後、特別巡視を行った。	特に異常は見られなかった。
7	R4.9.24	台風通過に伴う大雨警報を受け、特別巡視を行った。	和田口東側緩衝帯の崖崩落を確認。近隣住宅への影響はなかった。
8	R4.10.11	犬に足を咬まれ、逃げられた。	山手警察署への通報を促した。
9	R4.11.6	来園者同士で犬のノーリードに注意して口論となり警察へ通報となった。	警察の事情聴取に立ち会い、リードを繋いで頂くよう説明した。
10	R5.1.5	園路の側溝から水が湧き出していた。	給水管からの漏水復旧工事を実施。
11	R5.2.17	団体で木登りをしているところを発見。	団体の責任者へ声掛けを行った。
12	R5.2.19	倒木があったと連絡があった。	撤去を行い、穴は埋め戻した。
13	R5.2.2, 3,10,21	同じ場所で小規模の放火跡を4回発見。	看板の設置等対処後、21日に消防と警察へ通報。警察に夜間の園内巡回強化を依頼した。
14	R5.3.8	爆破予告の情報提供があった。	不審物等は確認されなかった。
15	R5.3.17	自販機の上で園児が遊んでいるところを発見。	団体の責任者へ声掛けを行った。
16	R5.3.26	階段でロープから吊り下がった負傷者を確認。その後負傷者の死亡が確認された。	緊急車両の出入口を確保、現場付近の来園者に散策路変更をお願いした。

(事業報告書様式7)

利用者アンケート結果

公園の満足度項目(%)	満足	普通	不満	分からない
施設の清潔さについて(トイレ、ベンチ、手すり、建物など)	54	37	6	3
施設の利便性について(トイレ、ベンチ、園路など)	56	39	2	4

安全性について(園内の安全性、安心感など)	74	21	3	2
公園内外の案内について(案内サービス、案内板、サインなど)	55	41	2	2
植栽の管理状態について(樹木、草木、樹名板など)	74	22	3	2
イベント、催しについて	54	32	3	11
職員の対応について	76	20	0	4
総合満足度について	78	20	0	2

公園についての意見要望

<ul style="list-style-type: none"> ・トイレをもっときれいにして欲しい。→トイレは毎日清掃しているが、今後壁等も含めてきれいにする。 ・見晴らしを良くして欲しい。→実生木や笹を伐採・刈り込んで一部見晴らしを良くした。 ・イベントを増やして欲しい。→コロナ緩和後、イベントを増やし、広報も積極的に行う。
--

(事業報告書様式8)

研修実施報告

	実施日	研修名	参加人数	内容及び効果
1	R4.4.4	安全教育	10名	安全基準等を学んだ。
2	R4.5.6	植栽維持管理研修(造園基礎)	8名	庭の歴史等、座学を行った。
3	R4.7.22	公共建築物保全に関する研修	1名	持続可能な運営の情報を得た。
4	R4.8.12	AED使用方法	11名	実践を交え習得した。
5	R4.8.12	公園の園路について	11名	応急修繕等を座学で学んだ。
6	R4.11.18	植栽維持管理研修(木材加工)	9名	工具使用法を実技で学んだ。
7	R4.11.30 R4.12.2	個人情報保護研修	13名	個人情報を取り扱う場面と注意点等を具体的に学んだ。
8	R4.12.16	ヒューマンエラーと不安全行動	9名	事故発生原因と対策を学んだ。
9	R5.1.27	植栽維持管理研修(松枯れ)	5名	防除剤使用方法を習得した。
10	R5.3.8,9	職長教育研修	2名	安全衛生を学び、論議を行った。
11	R5.3.24	安全管理	5名	安全衛生の基本的を学んだ。
12	R5.3.24	接遇研修	3名	苦情対応等を学んだ。

(事業報告書様式9)

無料事業実施報告一覧(自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
本牧の風コンサート	本牧市民吹奏楽団による演奏会を行った。	100名	10/8
本牧ライトアッププロジェクト	地域協働事業。園路を手作りランタンで照らし地域伝統行事「お馬流し」への一体感を醸成。	380名	8/5-8/7
中区ブックフェスタ	地域連携事業。絵本の読み聞かせを行った。	7名	10/12,11/9

中区保育園駅伝大会	中区の保育園7園の年長さんが駅伝を行った。	100名	11/9
ドッグフェスタ	ゲームや体験を通じて犬のマナーやしつけ、ペット同行避難訓練等を開催。	2,000名	12/3,4
山頂公園クリーンアップラリー	地域協働事業。近隣の学校区からゴミを拾いながら管理棟前に集合した。	221名	2/25
山頂散歩	動植物生態系について解説。	18名	10/16,1/21
山頂の森の自然を知ろう	踏査による動植物の記録を紹介する事業。	-	通年
チョウの生育環境整備	愛護会、地区センターと共催。蝶を対象に生物多様性の保全を体験。座学、植栽、モニタリングを兼ねた観察会を実施した。	41名	4/29 6/25 10/2
青空絵本の部屋	子どもに絵本の読み聞かせを通じた情操教育。	180名	通年
野草を学ぶ、自然遊び、生き物観察会等	公園愛護会と協働。自然環境を残した里山エリアで、里山の特徴を生かした事業を実施した。		通年
七夕	来園者に願いを短冊に書いて飾って頂いた。	39名	7/1-7/7
中区タウンピクニック	中区主催で愛護会と協働し園内の解説を実施。	24名	11/6

※本牧ジャズナイト・本牧かぼちゃ祭り・本牧キャンドルナイトは中止。

有料事業実施報告一覧(自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業費(円)	自主事業収入(円)
ノルディックウォーキング	起伏のある園路を活用し健康増進を図るウォーキング。	71名	通年 (10回)	70,000	35,500
ナチュラルリース作り	園内に自生する植物素材を用いクリスマスリースを製作した。	10名	12/10	1,000	3,000
蜜蝋ハンドクリーム作り	蜜蝋を利用したクラフト体験。	5名	3/11	3,000	5,000
さつま芋掘り	屋上で収穫体験を行った。	19名	10/30	3,000	3,500
焼芋体験	地区センターと協働。キャンプ場竈で芋を落葉で焼いた。	52名	12/3	25,000	25,000
森林ヨガ	地区センターとの共催。観山広場でヨガをすることにより心身の健康増進を図る。	25名	4/17, 5/16, 10/23	10,000	12,500
わくわくファミリーキャンプ	一般バーベキューとして実施。	13名	9/10,11	30,000	8,500
フラワーガーデン見学会	本牧地区センター、愛護会との協働事業。第2回は公園の豊かな自然を紹介した。	11名	4/26	10,000	11,000
山頂にチョウを呼ぼう	愛護会、地区センターと共催。	41名	4/29,	5,000	7,500

	座学、植栽、モニタリングを兼ねた観察会を実施した。		6/5, 10/2		
本牧山頂公園 Bee プロジェクト	飼育、見学会、蜂蜜しぼり体験会、蜂蜜の販売等を行った。		通年	967,500	102,000
カフェ運営	飲食物等を販売した。		通年	3,768,489	5,921,880
合計		237名		4,892,989	6,135,380

(事業報告書様式 10)

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額 (円)	年 回 数	実施月
キャンプのできる広場運営委託	キャンプ広場利用者の対応	キャンプのできる広場運営委員会	1,626,460	53	4～11月, 3月
ドッグラン運営委託	ドッグランの運営・利用者対応	㈱ミリオンペット	5,371,358	112	通年
Bee プロジェクト	ミツバチ維持管理・採蜜・製品化	㈱オルト都市環境研究所	967,500	36	通年
植栽管理委託	法面の草刈・高木剪定・枯木の処理等	エグゼプランテイング㈱	2,185,700	15	8,9,R5.1,2, 3月
電気設備修理委託	園内灯・電気設備の点検、保守	㈱平岡電機工事	174,477	1	8月
電気設備点検保守委託	高圧受電保守点検業務	関東電気保安協会	158,935	7	4,5,7,9,11 R5.1,3月
コールセンター委託	夜間、年末年始、緊急時等の対応	京浜警備保障㈱	33,000	365	通年
施設清掃委託	トイレ・施設の清掃	清光社㈱	3,216,400	359	通年
放送設備点検委託	アンプ・スピーカーの点検	㈱エムテック・メディア・ジャパン	77,000	1	3月
遊戯施設点検委託	遊戯施設の精密点検	日都産業㈱	99,000	1	8月
空調設備点検委託	ガスヒーポン点検	東京ガス㈱	121,550	1	2月
一般廃棄物、産業廃棄物運搬・処分委託	施設内一般廃棄物、産業廃棄物の運搬・処分	㈱グリーン	136,290	1	R5.1,3月

本牧山頂公園 令和4年度 事業報告書

(事業報告書様式 11)

収支報告書(指定管理事業のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	49,871,440		49,871,440	49,871,440	0	
利用料金収入	3,000,000		3,000,000	2,527,000	473,000	
自主事業収入	1,500,000		1,500,000	6,135,380	-4,635,380	レストハウス売上増
横浜市による運営支援		861,000	861,000	861,000	0	横浜市による物価高騰に伴う指定管理施設運営支援
雑入	0		0	0	0	
その他雑入	200,000		200,000	311,500	-111,500	
収入合計 (a)	54,571,440	861,000	55,432,440	59,706,320	-4,273,880	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	27,532,440		27,532,440	27,437,230	95,210	
給与・賃金	22,752,440		22,752,440	22,452,420	300,020	
社会保険料	3,300,000		3,300,000	3,366,901	-66,901	
通勤手当	1,380,000		1,380,000	1,481,254	-101,254	
福利厚生費	100,000		100,000	136,655	-36,655	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	2,120,000		2,120,000	1,419,066	700,934	
旅費	340,000		340,000	227,643	112,357	
消耗品費	650,000		650,000	244,050	405,950	
会議賄い費	20,000		20,000	0	20,000	
印刷製本費	90,000		90,000	124,200	-34,200	
通信運搬費	250,000		250,000	318,578	-68,578	
使用料及び賃借料	70,000		70,000	3,146	66,854	
(横浜市への支払い分)	70,000		70,000	3,146	66,854	
(その他)	0		0	0	0	
備品購入費	350,000		350,000	136,000	214,000	
保険料	220,000		220,000	208,140	11,860	
振込手数料	10,000		10,000	2,000	8,000	
リース料	40,000		40,000	7,700	32,300	
手数料	0		0	0	0	
その他事務費	80,000		80,000	188,507	-108,507	
自主事業費	2,000,000		2,000,000	4,511,613	-2,511,613	レストハウス仕入増
管理費	18,384,000	861,000	19,245,000	22,333,023	-3,088,023	電力値上げのため
光熱水費合計	3,400,000	861,000	4,261,000	5,631,189	-1,370,189	
光熱水費(電気)	1,900,000	760,000	2,660,000	3,248,319	-588,319	
光熱水費(ガス)	400,000	101,000	501,000	1,156,172	-655,172	
光熱水費(水道)	770,000		770,000	858,613	-88,613	
光熱水費(下水道)	330,000		330,000	368,085	-38,085	
清掃費	3,500,000		3,500,000	2,924,000	576,000	
修繕費	2,500,000		2,500,000	2,593,278	-93,278	
機械警備費	30,000		30,000	0	30,000	
公園及び公園施設設備保全費	8,954,000		8,540,000	11,184,556	-2,644,556	マツ枯れ危険木対応
施設(建物)・設備保守	280,000		280,000	576,790	-296,790	
園地管理費	8,624,000		8,210,000	10,607,766	-2,397,766	
その他保全費	50,000		50,000	0	50,000	
公租公課	2,535,000		2,535,000	2,982,730	-447,730	
公租公課(事業所税)						
公租公課(消費税)	2,535,000		2,535,000	2,982,730	-447,730	
その他公租公課						
事務経費(本部分)	1,900,000		1,900,000	769,794	1,130,206	
雑費	100,000		100,000	80,669	19,331	
支出合計 (b)	54,571,440	861,000	55,432,440	59,534,125	-4,101,685	
差引 (a-b)	0		0	172,195	-172,195	

(参考)指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計 (c)	2,200,000		2,200,000	11,171,379	-8,971,379	自動販売機・駐車場
----------------	-----------	--	-----------	------------	------------	-----------

設置管理許可支出合計 (d)	0	0	5,662,160	-5,662,160
差引 (c - d)	2,200,000	2,200,000	5,509,219	-3,309,219

(今年度の収支報告)

- ・カフェ再開に伴い、人員増加・設備費を支出したが、予測収入を大幅に上回る収入を得られた。
- ・研修等の実施により職員の知識・技術が向上し、直営での作業範囲が増え、経費削減ができた。
- ・当団体が取り扱う園芸資材、花苗を利用し、購入費の削減ができた。
- ・Bee プロジェクトの一環でハチミツの販売を試みたが、スズメバチの影響で想定より収量が少なかった。

(事業報告書様式 12)

運営目標・実績報告【自己評価 ◎:特筆すべき取組がある ○:達成している △:改善を要する】

項目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	指定管理者評価 (◎・○・△)	改善点等今後の取組
業務運営1 (事業計画書様式2: 運営業務の実施計画・取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働事業 5件 ・生物多様性保全 3回 ・蜜源植物による新たな景観の創出 ・地域伝統芸能 実施 ・愛護会の支援 随時 ・環境学習・体験 6回 	<ul style="list-style-type: none"> ・5件達成した。(3月予定のウクレレは雨のため4月に順延) ・通期3回実施した。 ・蜜源植物を植栽、開花した。 ・コロナのためイベント中止。 ・随時支援した。 ・通期10回実施した。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策が緩和傾向にあり、地域の方々との協働事業を進めていく。
業務運営2 (事業計画書様式2: 管理運営体制、人員の配置と研修計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画した人員配置 ・研修の実施 7回 ・刈払機の安全講習受講 (未受講者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画した人員を配置。 ・通期13回実施した。 ・未受講者なし 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに実施できた。今後はスタッフの技術向上と安全について、さらに質と回数を増やしていく。
業務運営3 (事業計画書様式3: 利用者サービスの向上・利用促進策)	<ul style="list-style-type: none"> ・レストハウスカフェ開始 ・Beeproject イベント 2回 ・はちみつ販売 40kg ・チョウの吸蜜植物、食草による花壇の創出 ・ミツバチの蜜源植物による花畑の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業継続 ・通期2回実施した。 ・10kg(スズメバチにより収量減) ・第1四半期に実施した ・蜜源植物を植栽、開花した。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・Bee プロジェクト実施方法の見直しとして、ニホンミツバチの養蜂を試みる。
業務運営4 (事業計画書様式3: 広報・プロモーションの取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・開花情報の発信 15件 ・園内解説板設置 5件 ・HPの更新 12回 ・SNSの更新 12回 	<ul style="list-style-type: none"> ・通期24回実施した。 ・通期5回実施した。 ・通期30回実施した。 ・通期20回実施した。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、SNSの更新を意識して、積極的に発信していく。
業務運営5 (事業計画書様式3: 市民協働、市民主体の活動の支)	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンアップラバー開催 ・ライトアッププロジェクト開催 ・養蜂生産物の地域での活用 ・公園愛護会の活動支援、座学による人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・221名参加。 ・第2四半期に実施。 ・養蜂生産物(はちみつ)の売店販売。 ・愛護会への支援として移植の実施。来期に向けての打合せを 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して行ってきた活動を軸に、さらに新しいニーズを掘り起こし、市民との繋がりを拓いていく。

援、地域人材育成)		行った。		
業務運営6 (事業計画書様式3:本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドチップ利用 2回/2t ・生物多様性の保全体験イベントの実施 ・電動機具の使用 ・チョウの植物植栽 随時 ・農の体験イベント実施・市内業者への優先発注 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回/2t ・山頂にチョウを呼ぼう・ミツバチイベントを実施した。 ・実施した。 ・チョウの誘致植物を植栽した。 ・植え付け準備・実施した。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・次期より屋上花壇での生物多様性に配慮した植栽を実施予定。
業務運営7 (事業計画書様式4:公園の魅力高める施設保全・管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・レストハウスの適切な管理 ・施設、遊具の点検、修繕の実施 ・トイレ点検、修繕の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り、管理・点検・修繕の実施をした。 ・カフェ売り上げは目標以上達成。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・主園路やレストハウスを中心に園内は常に清潔に保ち、来園者へ安心安全な環境を提供する。
業務運営8 (事業計画書様式4:施設(建物等)、設備の維持管理、修繕計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理水準書、施設点検マニュアルに則った法定点検の実施 ・修繕計画の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施した。 ・計画通り実施した。 ・レストハウスの改修を実施した。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な点検の実施、点検時の指摘事項は優先順位をつけて修繕計画を立てる。
業務運営9 (事業計画書様式4:樹木、植栽等の管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な広場の草刈 水準書以上 ・主要樹木の施肥 ハナミズキ、ヨコハマヒザクラ、ベニシダレザクラ ・ナラ枯れ状況把握、予防のためのトラップ設置 30本 	<ul style="list-style-type: none"> ・水準書大幅に上回り実施した。 ・実施した。 ・実施した。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・園内の各広場の特性に応じて計画的な管理を行う。
業務運営10 (事業計画書様式4:巡視・清掃)	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視による植栽、施設点検、ゴミの回収 1日2回、359日 ・台風、大雨警報発令時等の特別巡視 随時 ・トイレ清掃 水準書以上 ・園路清掃 随時 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施した。 ・大雨警報時に特別巡視を7回実施し、災害の未然防止を図った。 ・実施した。 ・実施した。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視・清掃を継続して行い、災害時の対応や特別巡視の事前確認を行う。
収支 (事業計画書様式7:収入確保、経費節減策)	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェの収入を確保 80万円 ・直営による経費節減 ・当団体製品による経費節減 ・Bee プロジェクトでの生産物販売による収入 60万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・通期約 600万円 ・修繕を直営で実施 ・資材の利用 ・通期 10万円 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ収入確保のため、園内看板や SNS による宣伝の実施。 ・直営で修繕可能な作業を増やすため、技術力向上を図る。